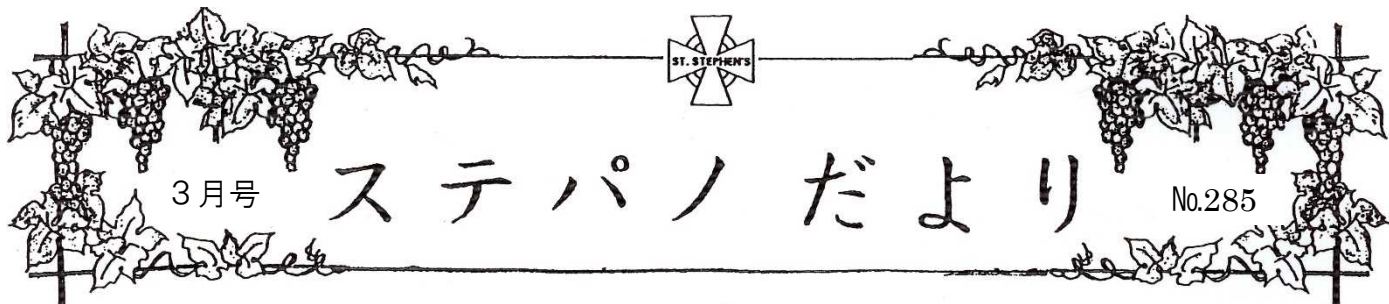




3月号

ステパノだより

No.285

今月の聖句

『求めなさい。そうすれば、与えられる。
探しなさい。そうすれば、見つかる。門を
たたきなさい。そうすれば、開かれる。』

マタイによる福音書

第7章7節

◎3月の予定

1日(金) ステパノカップ(バスケットボール)

4日(月) 時間割変更期間(18日)

ステパノカップ(陸上)

5日(火) 卒業遠足(中3)

7日(木) 中1校外学習

ステパノカップ(バレーボール)

8日(金) SAの集い

ステパノカップ(サッカー)

15日(金) 給食終了

18日(月) 3学期終業礼拝

教職員協議会

19日(火) 卒業礼拝式予行

20日(水) 卒業礼拝式

「春分の日」

27日(水) 評議員会・理事会

31日(日) 復活日

◎4月の予定

8日(月) 1学期始業礼拝

時間割変更期間(12日)

9日(火) 入学礼拝式

11日(木) イースター礼拝

13日(土) 保護者総会

ニコニコランチ

2月29日、学園全体が縦割り班になって給食を食べるニコニコランチがありました。いつもはすれ違うだけのお兄さんお姉さんとたくさん遊ぶことができた小学生と、いつもより数倍大人っぽく見える中学生が作り出すとても素敵な時間でした。



◎今月の行事から

【ステパノカップ】

中学校のバスケットボール部(1日)、陸上競技部(4日)、バレーボール部(7日)、サッカー部(8日)がそれぞれ試合を行い、一年間の活動を発表する場でもあります。中学生選抜チームと教員チームとの対戦もあり、全校あげて応援に熱が入ります。

【卒業遠足】 3月5日(火)

お台場に出かけていき、卒業までのわずかな時間を大切に、一日楽しく過ごします。素敵な思い出となることを願っています。

【卒業礼拝式】 3月20日(水)

今年、小学校からは15名、中学校からは19名を送り出します。聖ステパノ学園で学んだことを忘れず、新しい道へ進むことを願っています。彼らの門出が祝福されますように、お祈りください。

今年度も、保護者の方々、また多くの方々のご支援をいただきましたことを感謝申し上げます。これからも学園の教育のために、ご協力を賜りますようしくお願いいたします。



卒業生に送る言葉

校長 佐藤 紀明

★あかさんはまやらの法則

- 【あ】「ありがとう」は何度言っても良いこと
- 【い】忙しいと言う人は頼りにならないこと
- 【う】運を引き寄せるには努力し続けること
- 【え】笑顔は最大の武器であること
- 【お】お礼はすぐにする
- 【か】学校の友達を大切にすること
- 【き】今日から始めること
- 【く】苦しい時こそ諦めないこと
- 【け】健康を当たり前と思わないこと
- 【こ】心を鍛えるには体を鍛えること
- 【さ】先のことを考えて行動すること
- 【し】叱られて成長すること
- 【す】素直になること
- 【せ】成功談よりも失敗談から学ぶこと
- 【そ】外に目を向けること
- 【た】他人の意見は無責任であること
- 【ち】小さなことで大騒ぎしないこと
- 【つ】強がらなくて良いこと
- 【て】できないと言わないこと
- 【と】どんな状況でも家族は裏切らないこと
- 【な】涙を流すのは恥ずかしいこと
- 【に】人間は弱いこと
- 【ぬ】抜かりなく準備すること
- 【ね】熱意があれば、人は動いてくれること
- 【の】残り時間を意識すること
- 【は】早く失敗して、早く改善すること

- 【ひ】一人で頑張るのには限界があること
- 【ふ】プライドは持つても意味がないこと
- 【へ】偏見に出会ったら断固として戦うこと
- 【ほ】本当にやりたいことに集中すること
- 【ま】迷ったらすぐにやってみること
- 【み】みんなという言葉に安心しないこと
- 【む】群れずに「違い」を意識すること
- 【め】目上の人に甘えてもいいこと
- 【も】目的がない行動は無駄であること
- 【や】やり直すのに遅いことはないこと
- 【ゆ】勇気は体験から生まれること
- 【よ】余裕がないと人を傷つけること
- 【ら】ライバルがいた方が良いこと
- 【り】リラックスを心がけること
- 【る】ルールに縛られないこと
- 【れ】冷静になって考えること
- 【ろ】ロマンを忘れないこと
- 【わ】わかっているのとできるのは違うこと

★なりたい自分になるために

- 自分らしくあること
- 自分以上に見せる必要はない
- 周りの目に振り回されず
- ありのままの自分を受け入れよう
- そして何か一つでもいい
- 「これだけは負けない」
- というものを見つけること
- すべての情熱を傾け、求め続けること
- ただし、苦勞して掴み取ったものでも
- それに固執しないこと

自分から壁を作ってはいけない
時には失敗するかもしれない
自分を見つめて反省すればいい
考えて、考えて、考える
そこから本当の自信が生まれる
決して最後まであきらめないこと
いつかチャンスはやってくる
心の底から達成したいと願えば掴めるはず
一度しかない人生
どのように生きればよいか答えはない
自分の好きなように生きればいい
あなたが何歳であれ、
どのような状況であつても変わらない
変わるなら今しかない
あつという間に時は過ぎる
挑戦することを恐れないこと
迷ったり、ためらっている時間はない
やりたいことに価値はなく、
やるからこそ価値がある
何が大切なのか見極めよう
本当に何がしたいのかを問いかけよう
自分らしく生きよう
あなたならできる

私が思い悩んだ時に、励まされた言葉です。
言葉は人を傷つけ、その人の人生を悪い方に
変えてしまうこともあります。言葉は人を
励まし勇気づけ、人生を良い方に変える力も
あります。これから先、思い悩んだ時にこの
言葉を思い出してください。卒業おめでとう。

配り上手

小学校6主任 上戸 基夫

「先生！この連絡帳配ってもいいですか？」

「先生！この日記配ってもいいですか？」ステパノの子ども達はお手伝いが大好きなので、帰りの会や日記、プリントなどが置いてあるとすぐに配ってくれます。

三月を迎え、学園では卒業式に向けて様々な準備が始まっています。今年卒業していく小学校六年生も、中学校三年生も奇しくも私が小学校一年生を担当した子ども達です。入学当時は制服に「着られている」感じだった子ども達が、今ではそのエネルギーで制服を「着てやっている」と言わんばかりの成長を見せています。

これから卒業生は「卒業文集」の制作に取り掛かります。自分達で内容を考え、時には直筆で、時にはパソコンで、様々な文章を考え書き上げます。その中に毎年必ず取り入れられるコーナーがあります。先生方からのメッセージというコーナーです。先生方一人ひとりから、もちろん学園を支えてくださる事務の方々まで、全員から卒業のメッセージを頂きます。そのため、まずは先生方一人ひとりにメッセージを書いてもらうための用紙をくばります。これからは「メッセージをお願いします」と言いながらB6の紙を持って職員室を何度も出入することでしょう。

学校生活の中では「配る」という場面が良く見られます。テストを配る、プリントを配る、実験道具を配る、給食を配る…。色々なものを配ります。配るという行為は、一日の中で何度も何度も行われています。

子ども達の毎日を見てみると、様々な配られるものの中に、ふと、とても大切なものが大人も子どもも関係なく配られているような気がします。形もなく、それでいていつもいつも配られている最も大切なもの。それは自分の「心」です。一緒に生活している友達や先生方のことを考えるからこそその配りものです。

考えてみると、日本語には「配る」に関係する言葉がたくさんあります。「心配り」「気配り」「目を配る」「心配」「気配り」「思いを配る」「勇気を配る」「元気を配る」などなど。プリントや日記などの様に形はないけれど、毎日必ず配られているものです。元気がなさそうだったら元気を配る。体調が悪ければ大丈夫と心を配る。グループ活動をしていればみんなができているか、終わっているか目を配る、気を配る。明日試験があれば勇気を配る。

コロナも落ち着き、学年を越えた交わりがもどってきました。上級生は下級生のクラスにいき、色々とお手伝いをしています。そんな時も、上級生がたくさん心を配っています。時には中学生も小学生の手助けや交わりを持ちますが、そこでもたくさんの心が配られています。もちろん先生方も、子ども達に心を

配っています。時には少し厳しい伝え方をする時もあるかもしれませんが、心配しているからこそその心の配り方です。どの場面でも、どんな相手にでも、相手の事を想って「心」を込めて配っているのです。

最近、世間を見ていると、自分の事ばかりを主張する人がとても多く感じます。また、相手を批判し攻撃することばかりが目立ちます。本来ならば、私達は相手の事を考えたり、思ったり、まさに相手を思って「心」を配ることが得意だったはずなんです。でも、その良さがいつの間にか消えて行ってしまった。そんな気がしてなりません。

私は周りの人に「心」が配れる人は、とても素敵な人だと思っています。自分の事だけではなく、他の人に心を配れる人は、必ず周りの人を大切にできる人だと思っています。そしてステパノで学んだ皆さんは、「配り」が上手なはずなんです。いや、上手です。

卒業していく皆さんは、これから出会うたくさんの人に、そして進級していく皆さんは、一緒に過ごしていく友達に、たくさんの心を配って欲しいと思います。



優しさと強さ

中学校3主任 二挺木 健太

今年度の中学校三年生は19名の生徒がステパノ学園から巣立っていきます。毎年、この時期になると卒業準備をしていることもあり、子どもたちの昔の写真を見る機会が多くなります。昔よりも顔も大人びて、体も大きくなっていることが一目で分かり、子どもたちの成長を改めて感じ、嬉しくもあり、昔を思い出して懐かしくもなります。ただ、毎日一緒に学校生活を送っている子どもたちに会えなくなる寂しさもあり、色々な感情が入り混じります。

現在の中学校三年生がまだ小学校一年生の頃、私は中学校三年生の担任をしていました。その当時の中学校三年生が、教室で「小一が可愛い！」と子どもたち同士でよく話をしていたことを思い出します。行事や日常生活の中で小学生と中学生が交わる機会が今よりも活発だったこともあり、先輩たちが小学生のことを気にかけて、優しく声をかけてあげている場面を多く目にしていました。ある日、なぜそんなに先輩たちに優しくできるのか聞いたことがあります。その返答は「自分たちも先輩たちに優しくしてもらったから」と言っていました。子どもたちは誰からお願いされたわけではなく、先輩たちの優しさを自分たちの肌で感じ、たくさんの優しさと愛情を先

輩たちから受けながらステパノで成長していたことが分かります。その優しさを今、受けている小学校一年生が8年後どんな中学生になるか今から楽しみです。そしてステパノで自然と染みついた優しさを卒業生はいつまでも大切にしていってほしいです。しかし、ステパノを卒業し、これから出会う人は優しい人だけではありません。時には厳しい人もいますし、反りが合わない人とも出会うと思います。それでも今、先輩たちに優しくしているように誰にでも分け隔てなく優しく接することのできる人になってほしいと願っています。

ステパノを巣立つ卒業生に優しさの他に、もう一つ持つてもらいたいことがあります。それは気持ちの強さです。ステパノのような小さくアットホームな環境から大きな社会に出れば、今までに経験したことのない難な状況に直面することもあります。現実から目を背け、逃げ出したいこともあると思います。ただそんな時にその状況から決して逃げない強さ、立ち向かっていく勇氣を持つてほしいです。どうしても人は目の前の結果や誘惑など目先の事ばかりを考え、魅力を感じてしまうことがあります。そしてその結果、簡単な方、楽な方を選択してしまうことも少なくありません。日頃の小さな選択も人生を大きく左右する大きな選択も自分がどちらの方がより成長していけるのか考え、厳しく道を選び、突き進む気持ちの強さを持つて

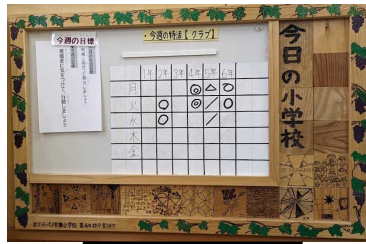
もらいたいのです。しかし、チャレンジする事が困難な事であればあるほど失敗するリスクもあります。それでも失敗から学び、立ち直る強さも必要だと感じています。たくさん失敗してほしいと言うわけではありません。私自身も小さなことでも成功体験はとても大切だと思っていますし、自分が頑張った成功できた時は誰だって嬉しいのです。しかし成功体験にばかり焦点が当たってしまい、現代は周囲の大人が子どもたちが失敗する前に手を出してしてしまい、失敗することを経験できない場面があります。そんなこともあり、失敗することに慣れていない子どもたちは立ち直り、向かっていく強さが以前よりも弱くなっている印象を受けます。誰でも最初は上手くいかないことも多くあるのでぜひ失敗を恐れずに自分に厳しくチャレンジして欲しいです。

これから先、どんな時もステパノの卒業生ということ誇りに思い、そしてステパノという存在を心の支えにしてくれると嬉しいです。卒業生一人一人のこれからの成長を心から願ひ、応援しています。





アトリエ モザイクアート



小学校 掲示板



小学校 聖句掲示用額



過去の卒業制作
特集



チャペル 聖歌番号



チャペル タベストリー



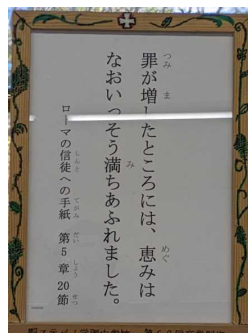
小学校 移動式掲示板



小学校 花台



中学校 壁かけ



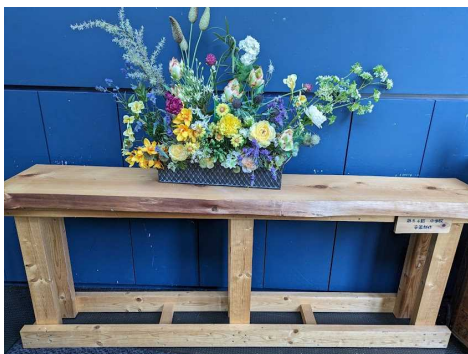
中学校 聖句掲示用額



ホール 花台



ホール 聖歌番号



ホール 長机



中学校 タオルハンガー



中学校 フレート



中学校 掲示板

今年度の卒業制作もどんなもの
ができあがるのか、今からと
ても楽しみです。



中学校 ピザ窯



中学校 モザイクアート

「小学校」

卒業目前の十五人。小学校を振り返ってもらいました。

ぼくが一番できるようになったことは、諦めずに挑戦することです。これは校長先生がよく言っていました。おかげで陸上部でタイムがあがってマラソン大会でいい記録ができました。これからもタイムが上がっても下がっても逃げずに頑張ります。 I・T

ステパノまつりと修学旅行で京都が思い出に残りました。それは京都タワーとか、金閣寺とか三十三間堂とか銀閣寺が楽しかったからです。 I・Y

修学旅行の京都が楽しかった。金閣寺がめちゃくちゃきれいだった。 I・H

修学旅行で三人でお部屋で寝られたことです。やっぱりお泊りは楽しかったです。 U・M

二〇二三年一〇月に修学旅行に行ってきました。京都弁をしゃべっていた滝川りよかんのおかみさん。バスの運転手さんが安全運転をしてくれました。出発の朝、愛犬に「僕は一日だけ家に帰ってこないからね」と挨拶をして出発しました。 K・R

自分が一番心に届いている人は、高橋先生です。なぜかと言うと、勉強もわかりやすいし、納得できる言葉で接してくれるし。もう嫌いなところはちよっとしかない最高な先生です。 S・D

僕の小学校生活で一番心に残ったことは、運動会の徒競走で初めて一位を取れた時です。毎回一位をとれるように努力するようになりました。一番楽しかったことは、ステパノまつりで自分の学年の屋台が繁盛したことでした。その後、自分達も他の学年の屋台を見に行つてとても楽しかったです。一番の思い出は、修学旅行で京都に行ったことです。後悔すること多いですが、みんなとの関係を深める事ができてとても良かったです。 S・H

六年間で楽しかったことは、修学旅行です。金閣寺や銀閣寺がすごく綺麗でした。二条城のうぐいすばりが綺麗でした。京都タワーは高かったので、少しだけ怖かったです。清水寺もほとんど木でできていてすごかったです。みんなで行った修学旅行は楽しかったです。 S・O

一番心に残った思い出は、修学旅行です。初めて友達と新幹線に乗り、初めて友達と学校以外の所で遊びました。初めて友達と寝ました。更に友達の仲を深められたと思います。この事は卒業しても忘れません。 S・Z

ステパノで僕は修学旅行が思い出でした。金閣寺・銀閣寺・清水寺・東本願寺・京都タワーの展望台。そして色々な電車で会えたり、名古屋駅で激レアの「火の鳥」に会えました。京都タワーの中にあるビュッフェに行つて好きな食べ物をいっぱい食べました。楽しかったです。 T・K

小学校での思い出は、運動会です。一番楽しかった競技はリレーです。リレーは最初からあとにつなぐのが楽しかったです。自分にバトンが回ってきた時から走るのがワクワクしたのしかったです。来年はもっと速く走れるようにしたいです。 T・A

僕が六年間で一番楽しかったのは、運動会です。中でも競技だけではなく、得点係の仕事でした。特に思い出に残っているのはリレーです。色々な人と協力して走り切るのがすごく思い出に残っています。 T・G

一番の思い出は修学旅行です。たきがわ旅館でのお泊りがたのしかったです。 H・H

私の六年間の思い出は、京都へ修学旅行に行ったことです。金閣寺や銀閣寺などの名所に行きました。銀閣寺はわびさびを感じる様な場所でしたが、金閣寺は派手な北山文化でした。三十三間堂は千仏がありました。この修学旅行で歴史について深く学ぶことができたと思います。 H・N

心に残ったことは、私が四年生の時に友達と一緒にサッカーをしたことです。その時に中学生が蹴ったボールが当たって大泣きしてしまいました。その時に友達が慰めてくれました。これは忘れられません。 F・K

【中学校】

卒業まであと少し。たくさんある学校への思い出を振り返りました。

私は、この九年間で色々なことを学びました。

思いやりや挑戦する楽しさを学びました。この経験を活かして将来に繋げていきたいです。 A・M

駅伝でタスキをつなげた事が一番の思い出です。部活を頑張れたり、学校で楽しく過ごせたのは先生方や皆のおかげです。感謝します。 A・K

私の一番の思い出は、やはり修学旅行です。クラスの皆で観光したり、写真を撮ったり、新幹線で話したり、ホテルで一緒に遊んだりしたことが今でも鮮明に覚えています。最後にクラスの皆と最高の思い出が作れてよかったです。今までお世話になった先生方ありがとうございました。 O・Y

僕にとって一番の思い出は、運動会の紅白対抗リレーです。小1から中3の全員が出場して競い合い、今年は僕が赤組のアンカーを務めました。9年間みなさん、ありがとうございました。このクラスでとても良かったです。 O・T

ステパノで得られたものは、苦難があっても共に乗り越えて来た仲間だとおもっています！今まで本当にありがとうございました！ O・H

2015年から入学して9年間、先輩後輩達とのとても良い交流が経験できました。この経験は、思い出の1つとして心に刻みます。 K・R

どんな時だって時間は来るし、朝も夜も来る。だから、すぐに考えて決める。じゃないと後悔は必ず来るから。 G・M

この三年間の中学校生活は、とても楽しかったです。この学校にはたくさんの思い出があり、毎日学校に行くと、楽しい一日が始まるので、忘れられないです。 K・H

自分は、ステパノでたくさんの事を学ばせてもらいました。先生方やクラスメイトの皆にはありがたい気持ちでいっぱいです。ここで学んだ事をこれから先の生活にも活かしていけたらと思います。本当に得る物が多い三年間でした。 K・A

私の中学校の思い出は、3年間全部です。中3の皆や先生方に支えてもらって3年間いろんな事を学びました。この3年間は私にとって宝物です。 S・S

私がステパノ学園で学んだ事は、他者を思いやる心です。入学時は自己中心でしたが、先生方のご指導により協調性が身に付きました。 S・H

あつという間の九年でした。運動会や祝会などさまざまな行事で、いい思い出がたくさんできました。ありがとうございました。 S・S

私は中学校生活で修学旅行が一番楽しかったです。普段はなかなか話すことがない友達と交流して仲良くなったことが嬉しかったです。 H・T

ステパノ中学校で過ごした3年間は本当に大変なことしかなかったけど、中3で過ごした学校生活はとても良い思い出です。高校に行っても、夢（デザイナー）に向かって一歩ずつがんばりたいと思います。 H・M

私が一番楽しかった行事は「ステパノまつり」でした。今年は劇中にダンスもあり、大変でしたが、お客様に喜んでもらえて楽しくうれしかったです！ T・Y

自分は、小1からステパノにいて、9年間ここで過ごしました。色々なことがありましたが、ありがとうございました。 M・A

僕が一番楽しかったことは、ステパノカップです。僕は運動をするのが好きなので、楽しかった思い出です。あと、修学旅行で寝る前に友達とふざけ合ったことが一番の思い出です。 M・R

僕にも中学校最後の春が来ました。先生方や周りには勉強はもちろん、人との関わりや存在というもののありがたみを教えてもらいました。 R・I

コロナの事もあり、学校に行ける日が少なかったですが、小学校からステパノに行ってよかったです。ありがとうございました。 Y・D



盲導犬を伴い、授業へと向かう先生。スケールを当てながら、その日の課題をスムーズに板書する新井淑則さんは、全盲の中学教諭です。新年度には、受け持つ生徒全員の自己紹介音声でICレコーダーに録音して声と名前を覚え、声のみで生徒を判別できるといいます。埼玉県国語科教諭だった一九六一年生まれの新井先生は、二十八歳で網膜剥離を突発して右目を失明し、養護学校（現・特別支援学校）へ異動の後、三十四歳で左目も失明、全盲となったそうです。過酷な現実に死を意識する程の絶望も経て、点字の習得、白杖での歩行、日常生活や盲導犬との生活訓練を重ね、少しずつ希望を見出し、弱視の高校教諭との出会いや家族の支えから復職を決意し、三十七歳で養護学校に復帰、その後、盲学校に勤務されました。「見えないからこそ、教えられるものがあるはず」との想いで公立中学校普通級での勤務を訴え続けて九年目に実現、四十六歳で着任し、五十二歳でクラス担任となりました。ペアの教諭と二人で授業を行い、音声入力でパソコンを操作し、朗読ボランティアの協力で生徒の作文や関連資料を読み、点字が潰れるまでの反復で音読練習し、野球部のノックまで自分の手で行う。工

夫と努力で職務を全うする気概あふれる姿は、ドキュメンタリー映像作品にも描かれました。「大切にしていることは、学力の向上だけでなく、生徒の声を聴くこと」だと言い、授業中に生徒の机を回り、「元気？」と小声で個別に声をかけます。「生徒の見た目とか、仕草とか、態度を気にせず内面に寄り添っている」というスタンスとなり、「できないことより、できることを数えなさい」と伝えます。自身も「ありのままの姿を見せて接する」とことを心掛け、積極的に生徒に助けを求めます。給食の時間には生徒が誘導し、嬉々とした様子で先生を囲んで「七時の方向にご飯があります」と位置を時計の短針に見立てるクロックポジションの手法で説明します。生活経験として多様性に向き合う生徒達は、「色々な立場の人について考える」ことを教わったと振り返ります。定年を迎え、最後の授業に選んだのは、自身が拠り所としていた宮沢賢治の「雨ニモマケズ」。手の障害を不安視していた生徒と級友の関わりから「勉強より心が大事なんだよな。人を思いやる優しさが生き残る道だ」と語りかけます。定年後、誰もが集える居場所作りの道半ば、癌と難病で二〇二三年六十一歳で他界されたことが惜しまれます。今春ご卒業の皆さんも、自分の光を大切に、出会いを力として歩めるようお祈りします。

◇新井 淑則・著『光を失って心が見えた 全盲先生のメッセージ』／テレビ朝日・制作『君たちと見たもの』全盲先生：魂の記録』

STEPHEN'S NEWS

○すくすくのつばくんカップ
神奈川江ノ島大会 一月 十二歳以下の部
準優勝 小5 O・Y

○マラソン大会 小学校1・2年生の部

記録証 小2 A・Y
一位 小2 Y・C
二位 小2 I・O
三位 小1 A・K

記録証 小4 K・R
一位 小4 K・M
二位 小4 N・K
三位 小3 S・J

記録証 小4 K・R
一位 小6 S・H
二位 小6 I・T
三位 小6 I・Y

記録証 小5 S・R

男子の部
一位 中3 K・H
二位 中2 H・U
三位 中3 N・O
一位 中1 H・M
二位 中1 O・M

女子の部
一位 中3 K・H
二位 中2 H・U
三位 中3 N・O
一位 中1 H・M
二位 中1 O・M

記録証
中3 S・S
中1 S・P
四級合格



【編集後記】

あの小さかった一年生が立派に成長し、この学園を巣立って行きます。今年もまた、出会いと別れの春を迎えました。（え）

発行者 聖ステパノ学園小学校・中学校

校長 佐藤 紀明

ステパノだより編集委員会

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯868

TEL 0463-611298

FAX 0463-6119739

http://www.stephen-oiso.ed.jp

二〇二四年三月八日（金）発行第285号